

新居浜の

産業遺産物語

物語②

山根競技場観覧席

国の登録有形文化財



市内には工業都市として発展した新居浜の歴史を物語る産業遺産が数多く残されています。このコーナーでは、これらの産業遺産をご紹介します。

新居浜太鼓祭りのかきくらべ会場でもおなじみの山根市民グラウンドは、別子銅山と関連企業で働く人の福利厚生を目的につくられました。グラウンドには、生子山（通称えんとつ山）の北斜面に沿って20数段に及ぶ階段状の石積みの観覧席があります。（写真1、2）

この観覧席は、別子銅山の最高責任者となった鷺尾勘解治の指導で、住友各企業の社員による作務さむと呼ばれる休日勤労奉仕（ボランティア活動）により造られ、昭和3年に完成しました。石積みの石は、国領川の河原の石を一つずつ集めて積み上げたものです。

この石積みは、別子銅山300年の石積み文化を別子山中から新居浜の地へと受け継いだ貴重な構築物であり、平成21年に国の登録有形文化財となっています。

別子銅山文化遺産課

☎ 65 - 1236



2

新居浜太鼓祭りの観客で埋まる観覧席
出典：一般社団法人新居浜市観光物産協会



1

石積みの観覧席
出典：一般社団法人新居浜市観光物産協会



広告欄